

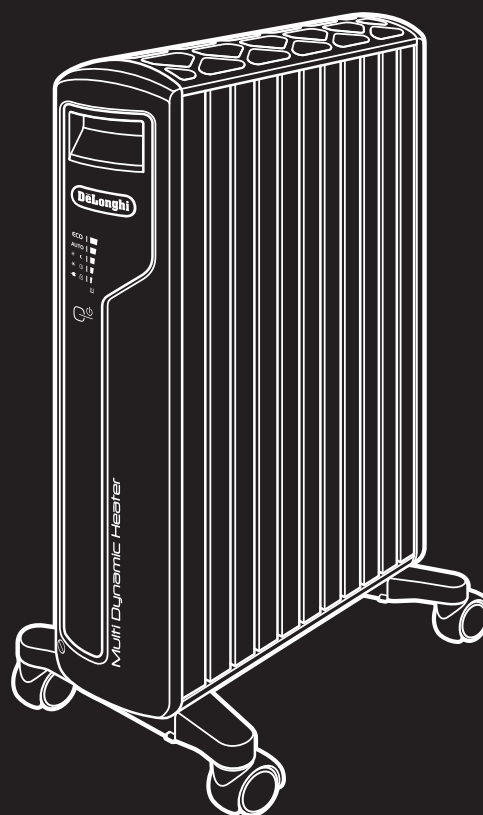


Multi Dynamic Heater

デロンギ
マルチダイナミックヒーター

MDH15-BK

取扱説明書



このたびは、
デロンギ マルチダイナミックヒーターをお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お使いになる前の、大事なお知らせです		お使いになる前に		
安全上のご注意	2			
ご使用前に	4			
マルチダイナミックヒーターについて	6			
設置する	6			
各部の名称とはたらき	8			
リモコンの準備	10			
暖房を開始します			暖房の開始	
暖房運転の基本操作	11			
● 暖房の基本運転(AUTO モード)	11			
● 運転モードを切り替える	12			
● 電力レベルの設定と消費電力	14			
● 適温を保って省エネ暖房 ～電力レベルの自動調整～	14			
より便利に使うための機能			便利な機能	
便利な機能	15			
● チャイルドロック	15			
● 本体電源ボタンの使いかた	15			
● 操作音オフ	15			
● 本体表示ランプの明るさ	15			
ご使用シーンに合わせたプログラムモードで快適に			プログラムモード	
プログラムモードでもっと便利に	16			
● お部屋や生活に合わせてプログラムを選択	16			
プログラムモードの使いかた	17			
● プログラムモードに切り替える	17			
● 自分のプログラムを作成する	18			
使いかたのヒント	20		メンテナンス	
● 運転モードについて	20			
● プログラムモードについて	20			
お手入れや保証など、長年お使いいただくために				
故障かな？	22			メンテナンス
お手入れ／保管のしかた	25			
仕 様	26			
アフターサービス	27			
保証規定	28			

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

お客様情報登録のご案内

本製品の保証はお客様情報のご登録後に有効となります。別紙の『お客様登録ガイド』をお読みの上、**お買い上げ日から1ヶ月以内**にご登録をお願いします。

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



警告

誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



警告



指示

定格 15 A (100 V) のコンセントを本製品だけ単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのホコリは定期的に取り除く

(火災の原因)

異常・故障時には使用を中止する

(火災・感電の原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

お子さま、自分で本機の温度を調節できない方には必ず付き添う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- ※ お子さま、乳幼児、自分で本機の温度を調節できない方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。



禁止

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使わない

(火災の原因)

- 電源を取るコンセントのすぐ下で使わない。
- ※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

テーブルや机の下で使わない

- ※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

スプレー缶などを本体の近くに置かない

(火災・けがの原因)

逆さ・横倒し・立てかけて使用しない

(火災の原因)



禁止

リモコンを小さなお子さまの手が届く場所に置かない

(火災・けがの原因)

- ※ 誤って電源を入れてしまう恐れがあります。
- ※ 乾電池を取り出して飲み込む恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

(感電の原因)

電源プラグ・電源コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重いものを載せたり、本機の下敷きしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- 本体表面など高温部や他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

電源コードをコードホルダーに巻き付けたまま使用しない

(火災の原因)

- 余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたまま使用する。

運転中に電源プラグを抜き差ししない

(火災・感電の原因)

収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない

(火災の原因)

- ※ 25ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電・けがの原因)

- ※ 特に小さなお子さまにはご注意ください。

本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途に使用しない。

本製品を分解、改造しない

(火災・感電の原因)

注意



指示

決められた設置方法に従う

(火災・感電・やけど・けがの原因)

- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20cm以上離す。
- 人やペットおよび家具などからは1m以上離す。
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く。

※ 6ページ「設置場所についてのご注意」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災・感電の原因)

- 電源コードを無理に引っ張らない。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)

ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う

(やけど・けがの原因)

※ 6ページ「本機を移動するときは」参照

本体が転倒したときは使用を中止する

(火災・感電・けがの原因)

転倒時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

水・湿気の多い場所で使用しない

(火災・感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使わない。
- 硫化ガスが発生する場所(温泉地の脱衣所)などや塩害の恐れがある場所で使用しない。

本体やリモコンに水などの液体をこぼさない

(火災・感電の原因)

本体を水に浸けたり、水洗いをしない

(火災・感電の原因)

運転中および停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

犬や猫などのペットの暖房に使用しない

(火災の原因)

リモコンと電池について

使い方を誤ると変形、発熱、破裂、液漏れの原因となります。次の注意事項を必ずお守りください。



指示

指定された電池のみ使用する

(火災・けがの原因)

- 取り付けの際には、プラス(+)とマイナス(-)の向きを指示どおりに入れる。
- 使い切った電池は機器から取り出す。
- 交換の際は同じ種類の乾電池を2本使用する。

長期間使用しないときは乾電池を取り出す

(火災・けがの原因)

電池は幼児の手に届かないところに置く

(火災・けがの原因)

- ※ 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。
- ※ 電池の液が身体や衣服に付いた場合は、水でよく洗い流してください。



指示

高温・高湿の場所を避けて保管する

(火災・けがの原因)



禁止

熱したり分解したり、火の中に入れない

(けがの原因)

直射日光の強い所やヒーターの放熱部の近くなど、高温になる場所に放置しない

(けがの原因)

ご使用の前に

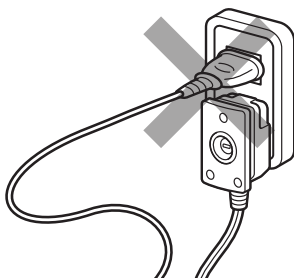
電源プラグ・コード、コンセントの定期点検

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記に従って、電源プラグ、電源コード、および壁のコンセントを定期的に点検してください。

電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート

チェックポイント

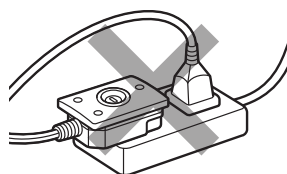
- ☐ コンセントを他の機器と併用していませんか？



詳細説明

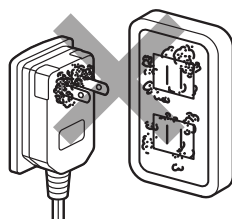
定格15A(100V)の壁のコンセントをお使いください。コンセントが2口の場合は、片方を空けて単独でお使いください。他の器具と併用して容量がオーバーすると異常発熱し、火災の原因になります。

- ☐ 延長コードやテابلタップを使っていませんか？



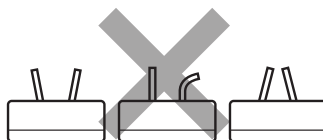
延長コードやテابلタップなどは使用しないでください。電源は壁のコンセントから直接お取りください。コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、火災の原因になります。

- ☐ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



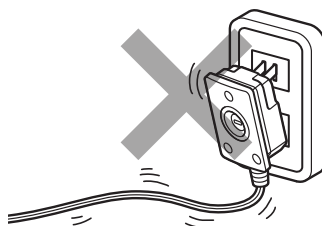
付着したホコリは、掃除機などで定期的に取り除いてください。電源プラグと壁のコンセントの接触面にホコリが付着し、湿気が加わると、トラッキング現象が発生し、火災の原因になります。

- ☐ 電源プラグ(刃)が変形していませんか？



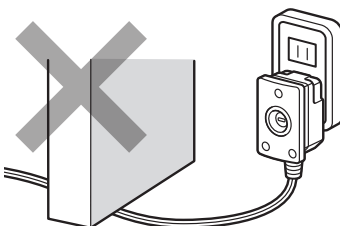
電源プラグ(刃)が変形した場合は、販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換をご依頼ください。曲がった刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受けを変形させる原因になります。(曲がった刃をペンチなどで手直ししないでください。)

- ☐ コンセントにガタツキはありませんか？



壁のコンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。緩みのあるコンセントを使用すると、電源プラグ(刃)と十分な接触が得られず異常発熱し、火災の原因になります。

- ☐ 電源コードに重い物が載っていませんか？

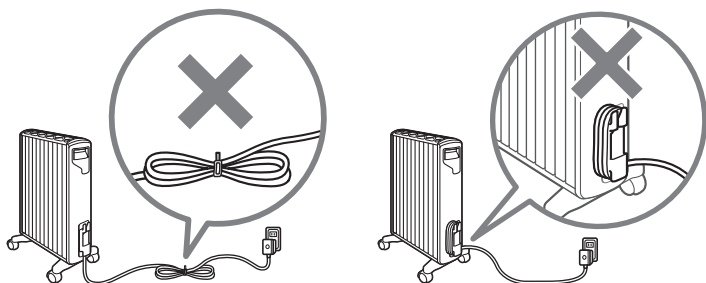


電源コードに重いものを載せたり、壁に押し付けたりしないでください。電源コードに無理な力が加わると、電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。

チェックポイント

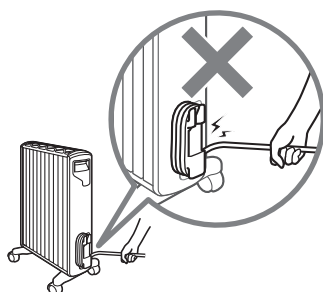
詳細説明

- 電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたまま使っていませんか？



余った電源コードは残さずコードホルダーから解き、伸ばしたままお使いください。
電源コードを束ねたり、コードホルダーに巻いたままお使いになると、異常発熱し、火災の原因になります。

- 電源コードをコードホルダーに強く巻いていませんか？



収納するときは、電源コードをコードホルダーに強く巻きつけないでください。
電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、火災や感電の原因になります。

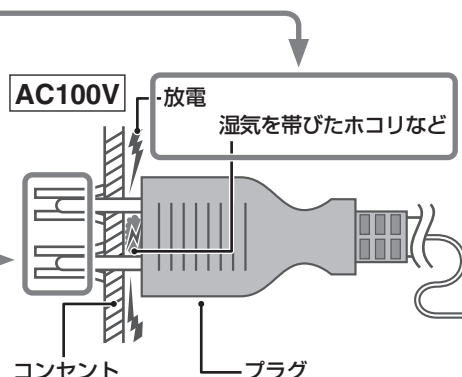
■トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにホコリがたまると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます。

■電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



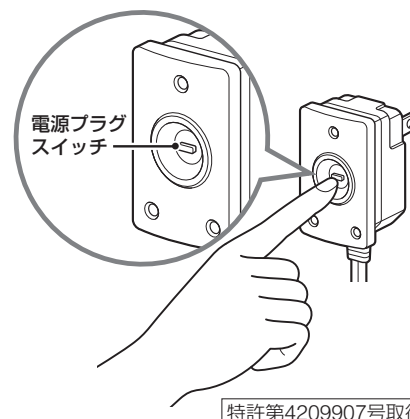
ご使用前に電源プラグをご確認ください

本製品の電源プラグは、復帰型温度過昇防止装置内蔵の安全プラグです。
復帰型温度過昇防止装置は、壁のコンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために、電源プラグスイッチ周辺が異常過熱(約80℃以上)したときに本製品の電源を自動で切ります。

輸送時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動して、購入直後に本製品の電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。

電源プラグをコンセントに差し込んでも通電ランプが点灯しないときは、電源プラグスイッチ(右図)をカチッと音がするまでプラグ内に押し込んでください。

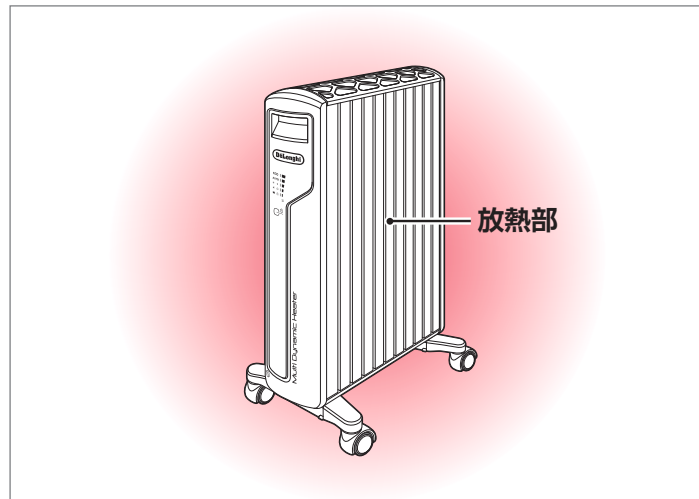
- ご使用前(シーズンごと)に電源プラグスイッチがプラグ内に押し込まれているか確認してください。



マルチダイナミックヒーターについて

暖房のしくみ

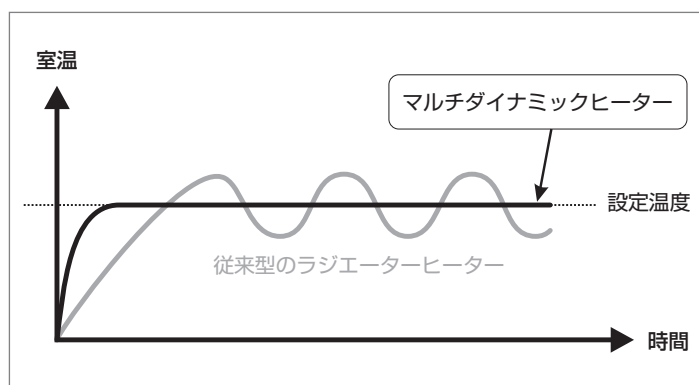
複数の電気ヒーターの熱を効率良く取り出す独自構造により、輻射熱と自然対流で室内をおだやかに暖めます。



適温を保つ

Auto Adaptive Technology (AAT)

本機はAuto Adaptive Technology (AAT)により、室温と設定温度との差を計測して、電力レベルを自動調整します。室温を設定温度に近づけるために必要最低限の電力で運転するので、少ない消費電力量で長時間にわたって適温を保つことができます。



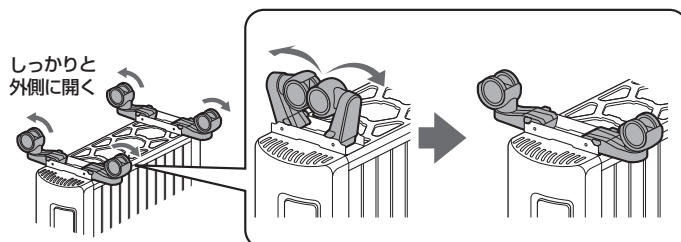
設置する

ご購入後すぐに



必ずキャスターを開いて使用する

※ 設置前に必ず折りたたみ式キャスターを開いてください。



本機を移動するときは



本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

- 取っ手を持ちゆっくりと引いてください。
 - 階段や段差を移動するときは、本体底部を持って移動してください。
- ※ 持つときは必ず手袋などで手を保護してください。

設置場所についてのご注意



壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから20 cm以上離す

※ 材質によっては、本体の熱で変色／変質する恐れがあります。

テーブルや机の下で使わない

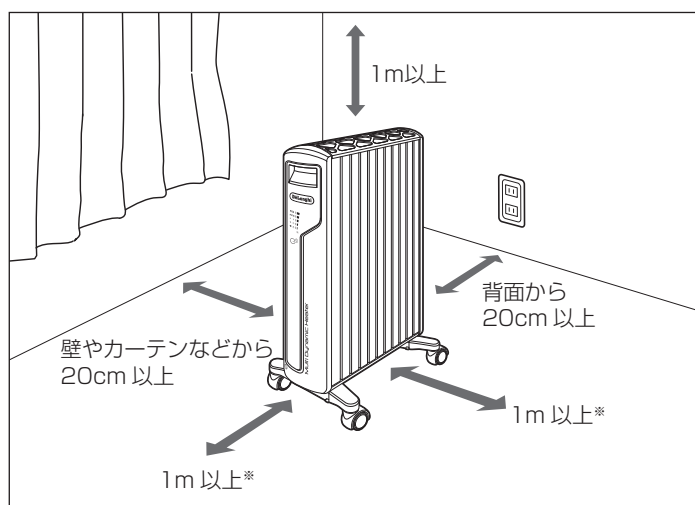
※ 本体の上部は燃えやすいものから1 m以上の距離を取ってください。上部をふさぐと空気の対流ができないため高温になります。

人やペットおよび家具などからは1 m以上離す

※ 寝室で使用する場合は、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して1 m以上の距離を取ってください。

毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 本体が倒れるとけがの原因になります。

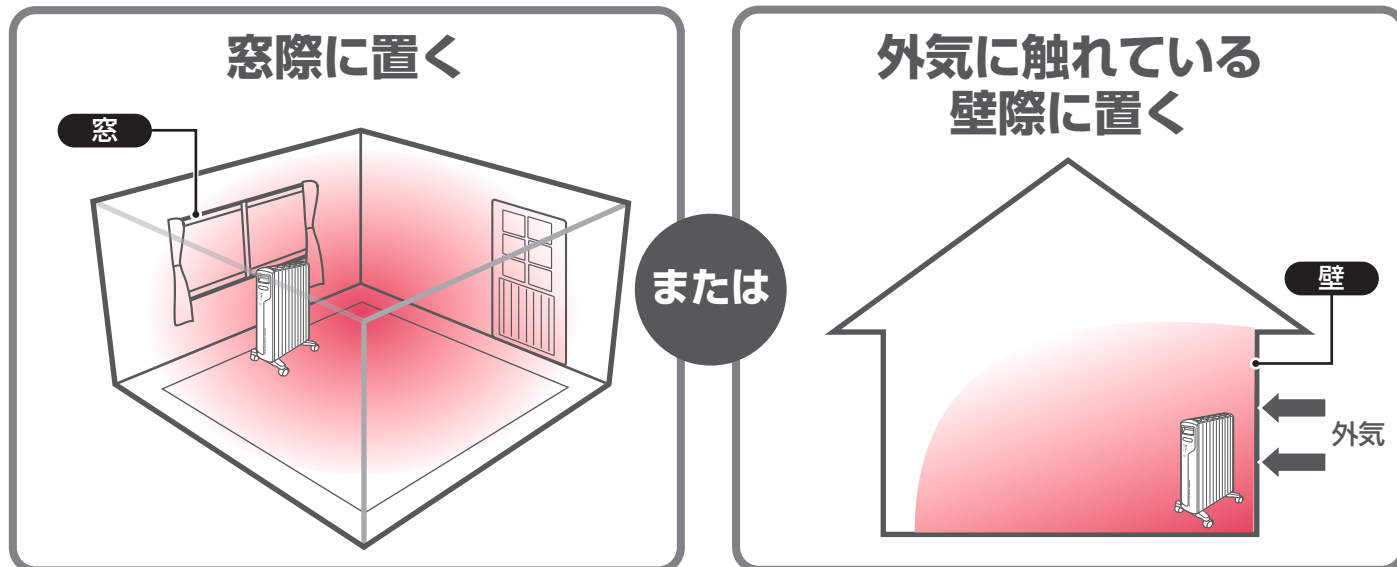


※ 寝室で使用する場合は、人や家具などから1 m以上離してください。

- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく動きません。

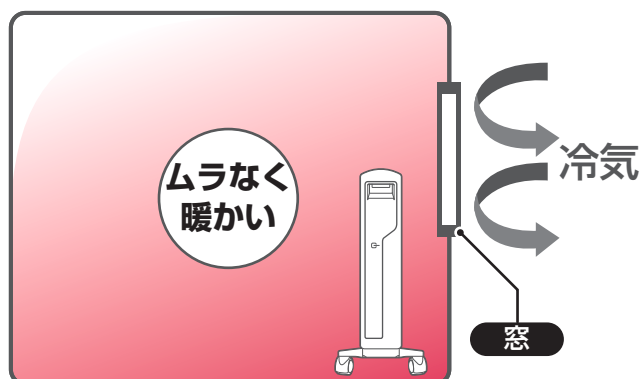
設置場所の工夫で効果的な暖房を

ヒーターの熱が、冷気の侵入をブロックすることで部屋の暖房効果が高まります。
お部屋の中でも熱の逃げやすい、次のような場所に置いてください。



■設置場所の良い例と悪い例

○良い例



- 窓際に置くとムラなく暖かい



× 悪い例



- 冷気が侵入し温度ムラができやすい
- ドア付近に設置すると暖気が逃げやすい

■その他の工夫

窓からの冷気の侵入を防いで部屋の断熱性を高めると、さらに暖房効率が上がります。

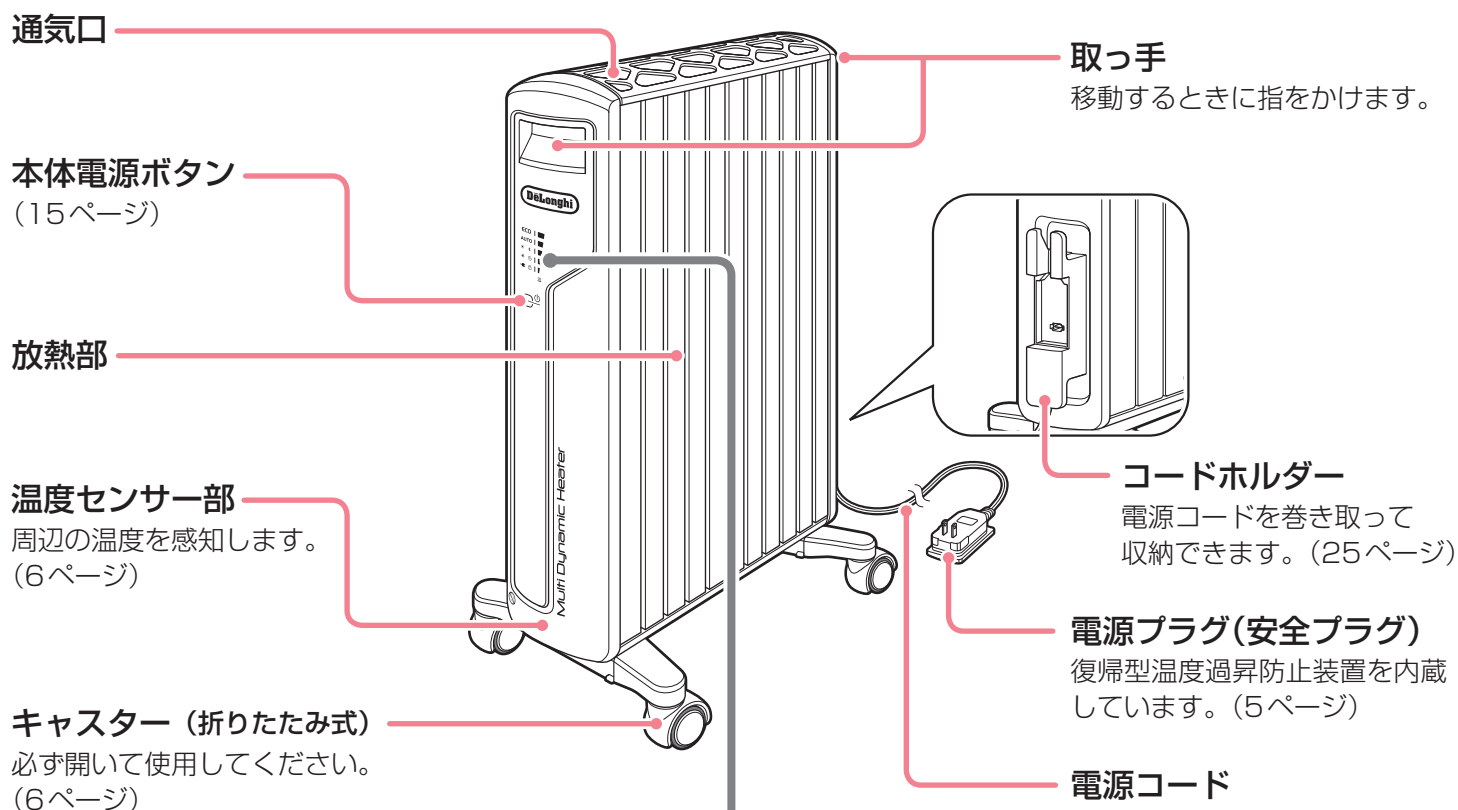
- 厚手で長めのカーテンを引く
- 窓に市販の断熱シートを貼る
- サッシに市販の断熱テープを貼る

各部の名称とはたらき

本体



ご使用の前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはずしてください。



本体の表示ランプ

運転モードランプ
選んだ運転モードに応じて点灯
します。(12 ページ)

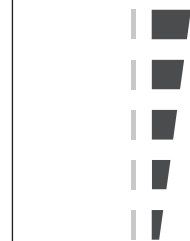
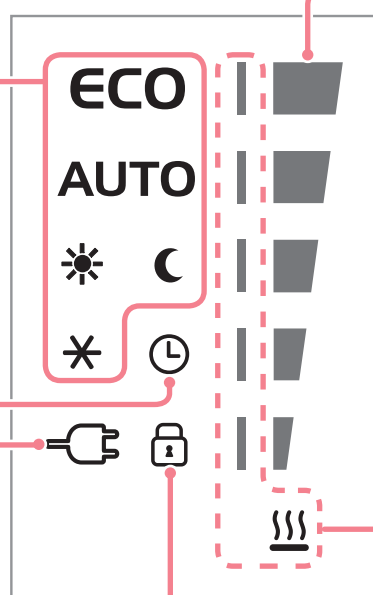
プログラムランプ
(17 ページ)

通電ランプ
(11、24 ページ)

チャイルドロックランプ
(15 ページ)

設定した電力レベル
(14 ページ)

運転電力モニター
(14 ページ)



リモコンディスプレイ

運転モード表示

選んだ運転モードに応じて表示されます。(12ページ)

設定温度表示

(11、13ページ)

電力レベル設定表示

(13、14ページ)

時刻表示

(10ページ)

タイムバー

(17ページ)

チャイルドロック表示

(15ページ)

電池状態表示

(10ページ)

消音表示

(15ページ)

プログラム表示

(17ページ)

曜日表示

(10ページ)

リモコン

通常、本機の操作はリモコンですべて行います。

信号送信部

リモコンを操作するときに本体前面に向けます。(11ページ)

ECO ボタン

ECO モードを設定／解除します。(13ページ)

電源ボタン

運転を開始／停止します。(11ページ)

電力レベルボタン

電力レベル設定を切り替えます。(13ページ)

プログラムボタン

プログラムモードを設定／解除します。(17ページ)

明るさ調整ボタン

本体表示ランプの明るさを設定します。(15ページ)

AUTO ボタン

AUTO モードを設定／解除します。(11ページ)

モードボタン

運転モード(※／☾／※)を切り替えます。(12ページ)

+／- ボタン

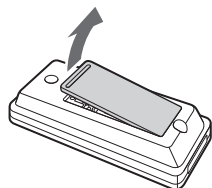
設定温度を変更するときなどに使用します。(11ページ)

リモコンの準備

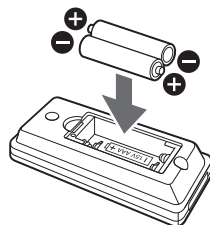
電池を入れる

本機の操作は付属のリモコンを使って行います。ご使用前にリモコンに付属の電池(単4形2本)を入れてください。

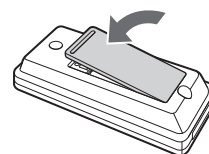
① リモコン背面の電池カバーをはずす



② +、-を確認して電池 2本を入れる



③ 電池カバーを取り付ける



お知らせ

- リモコンディスプレイの が点滅している場合は、電池が消耗しています。電池が切れたまま放置すると、作成したP4(プログラム4)などの設定が失われます。 が点滅を始めた後、30分以内に2本とも新しい電池(単4形)と交換してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

■ 設定内容をリセットするには

リモコンから電池を抜いたまま数時間放置し、ディスプレイの表示がすべて消えたことを確認してから、再び電池を入れてください。設定内容は工場出荷時の状態にリセットされます。

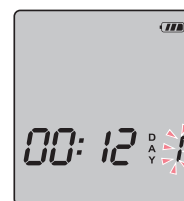
時計を合わせる(曜日と現在時刻の設定)

プログラムモードのご利用には、曜日と現在時刻の設定が必要です。リモコンに電池を入れたら、以下の手順で曜日と現在時刻を設定してください。また、ご使用中に曜日と現在時刻の設定を変更したい場合も、以下の手順を行ってください。



① と を同時に約3秒間押し続ける

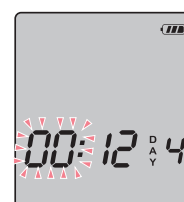
- 曜日表示が点滅を始めます。
- 以降の手順では、表示が点滅を始めてからボタン操作をしない状態が約5秒間続くと、曜日と現在時刻の設定が確定し、時計合わせが終了します。表示が点滅している間に次の手順に進んでください。



② / を押して曜日を選び、 を押す

- DAY 1 (月曜) ~ DAY 7 (日曜) から選びます。

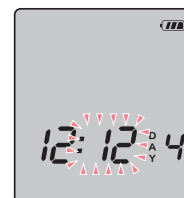
DAY	1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日



- 曜日表示の点滅が「時」表示の点滅に変わります。

③ / を押して「時」を選び、 を押す

- 時計は24時間表示です。0 ~ 23時から選びます。
- 「時」表示の点滅が「分」表示の点滅に変わります。



④ / を押して「分」を選び、 を押す

- 「分」表示が点滅から点灯に変わり、時計合わせが終了します。



暖房運転の基本操作

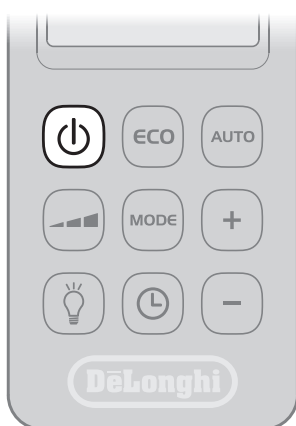
暖房の基本運転(AUTO モード)

お知らせ

- 事前に4ページ「電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート」を確認してください。
- リモコンは本体前面に向けて操作してください。
- リモコン信号を受信すると、本体の  が黄色に点滅し、本体から受信音が鳴ります。
- 本体前面に直射日光やその他の強い光を当てないでください。リモコンが正しく動かなくなる場合があります。

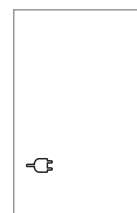
1

運転開始



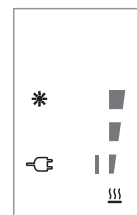
① 電源プラグをコンセントに差し込む

- 本体の全表示ランプが一瞬点灯して「ピー」と音が鳴ります。続けて「ピーー」と鳴ってから、本体の  が赤く点灯します。



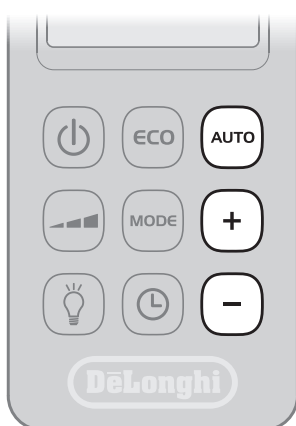
② リモコンの を押して運転を開始する

- 本体から「ピーピー」と音が鳴って、本体の  が緑色に点灯します。



2

AUTO モードで温度を設定する

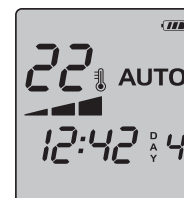


① を押して AUTO モードに切り替える

- 本体から「ピッピッ」と音が鳴って、本体およびリモコンディスプレイに **AUTO** が表示されます。
- 本機の運転モードについては、12ページ「運転モードを切り替える」を参照してください。

② / を押してお好みの温度に設定する

- 10 ~ 28℃の範囲で設定できます。
- ヒーターが自動で運転電力を調整してお好みの温度を保ちます。
- **AUTO** モードを解除するには、再度  を押します。

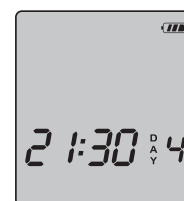


3

運転停止

リモコンの を押して運転を停止する

- 本体から「ピーー」と音が鳴って、本体の  が赤く点灯します。運転を停止すると、リモコンディスプレイには時計と  のみが表示されます。



その他の機能

- | | | |
|--------------------------|------------------------------|---------------------------|
| ● * モード ➡ 12ページ | ● C モード ➡ 12ページ | ● * モード ➡ 12ページ |
| ● ECO モード ➡ 13ページ | ● チャイルドロック ➡ 15ページ | ● 本体電源ボタン ➡ 15ページ |
| ● 操作音オフ ➡ 15ページ | ● 本体表示ランプの明るさ ➡ 15ページ | ● プログラムモード ➡ 16ページ |

暖房運転の基本操作

運転モードを切り替える

本機には以下の運転モードがあります。好みや生活パターンに合わせて運転モードを切り替えてください。運転モードを使いこなすと、さらに効率よく快適な暖房運転を行うことができます。

お使いいただくシーン	運転モード	説明	設定可能温度範囲
とにかくすぐにお部屋を暖めたい	AUTOモード (11 ページ)	電力レベルは「強」で固定。お好みの温度を設定するだけで、急速に設定温度に向けてお部屋を暖めます。	10～28℃
自分で調整して暖かく過ごしたい	☀モード (下記参照)	お好みに応じて、温度や電力レベルを手動で細かく設定できます。	10～28℃
寒くない程度に暖かさを保ちたい	🌙モード (下記参照)	☀モードより低めの設定温度で運転します。	8～25℃※1
暖房は不要だが、室温が下がりにくいようにしたい	✱モード (下記参照)	温度は5℃、電力レベルは「強」で固定。室温が5℃を下回ると自動で運転を開始します。	5℃
より経済的に運転したい	ECOモード (13 ページ)	☀モード/🌙モードの設定温度より自動的に0.5～2.0℃下げて運転し、消費電力量を抑えます。※2	☀モード/ 🌙モードの範囲
お部屋や生活に合わせて自動で暖房したい	プログラムモード (16 ページ)	3つのプリセットプログラム（固定パターン）と自分で作成したプログラムから選んで自動運転できます。※3	☀モード/ 🌙モードの範囲

※1 ☀モードより高い温度を設定することはできません。☀モードの温度を🌙モードより低く設定すると、🌙モードの温度は自動的に☀モードに合わせて下がります。

※2 **AUTO**モード、**✱モード**、プログラムモード中は**ECO**モードを設定できません。

※3 **AUTO**モードまたは**ECO**モード設定中はプログラムモードに切り替えられません。

1

運転開始

① 電源プラグをコンセントに差し込む

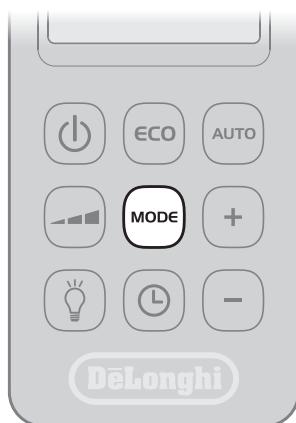
- 本体の全表示ランプが一瞬点灯して「ピー」と音が鳴ります。続けて「ピーー」と鳴ってから、本体の  が赤く点灯します。

② リモコンの を押して運転を開始する

- 本体から「ピーピー」と音が鳴って、本体の  が緑色に点灯します。

2

運転モードを選ぶ



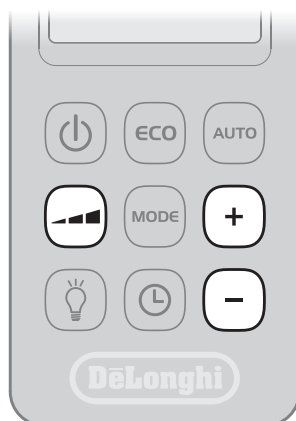
を押して運転モードを選ぶ

- 押すたびに ☀モード・🌙モード・✱モードが以下のように切り替わります。

本体の表示ランプおよびリモコンディスプレイ： →  →  → 

3

温度と電力レベルを設定する(※モード/●モード時)

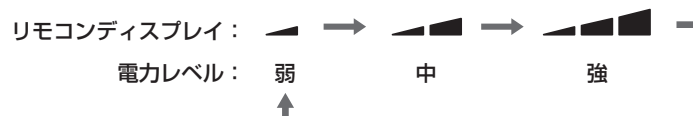


① を押してお好みの温度に設定する

- ※モードは10～28℃、●モードは8～25℃の範囲で設定できます。
- ●モードの温度を※モードより高く設定することはできません。
※モードの温度を●モードより低く設定すると、●モードの温度は自動的に※モードに合わせて下がります。

② を押して電力レベルを設定する

- 押すたびに弱・中・強が以下のように切り替わります。



- を押すたびに、本体の電力レベル表示も切り替わります。本体の電力レベル表示や電力レベル設定について詳しくは、14ページを参照してください。

■ より経済的に運転したいときは

運転中に を押す

- **ECO** モードは、※モードまたは●モードのときに設定できます。
- 本体およびリモコンディスプレイに **ECO** が表示されます。
- **ECO** モードを解除するには、再度 を押します。

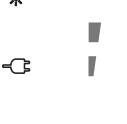
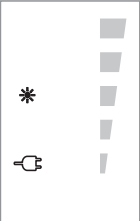
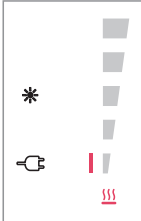
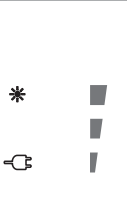
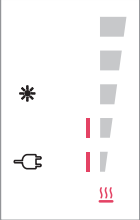
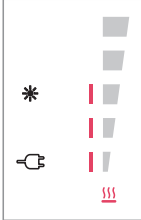
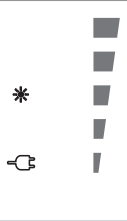
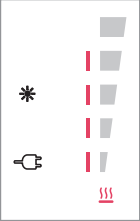
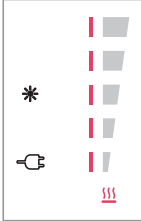
お知らせ

- ※モードの設定温度は5℃、電力レベルは「強」に固定され、調整できません。
- 本体電源ボタンでも電源のオン/オフと運転モードの切り替えができます。本体電源ボタンの使いかたは、15ページを参照してください。

暖房運転の基本操作

電力レベルの設定と消費電力

本機の電力レベルの設定は、3段階（弱・中・強）に切り替えられます（※モード／●モード時）。設定した電力レベルによって消費電力（暖房能力）も以下のように変わります。

電力レベルの設定		暖房能力の目安 （自動調整）	運転電力モニター（本体）の見かた	
リモコンディスプレイ	本体の表示ランプ			
 弱	 弱	0 ～約600W	 運転電力レベル 0（暖房休止）	 運転電力レベル 1
 中	 中	0 ～約900W	 運転電力レベル 2	 運転電力レベル 3
 強	 強	0 ～約1500W	 運転電力レベル 4	 運転電力レベル 5

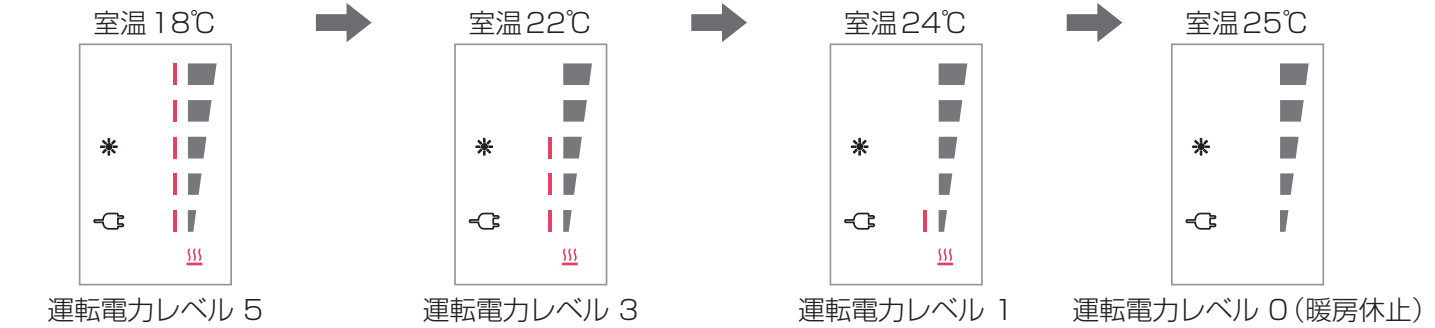
適温を保って省エネ暖房 ～電力レベルの自動調整～

Auto Adaptive Technology (AAT)によって、本機は電力レベルを自動で変化させて、設定温度に近い室温を長時間一定に保つことができます。実際の電力レベル（運転電力）は、設定した電力レベルの範囲で、最適なレベルに自動調整されるので、消費電力量を抑えた暖房運転ができます。

電力レベル自動調整のしくみ

室温が低く設定温度との差が大きいときは、設定した最大電力レベルで暖房運転します。室温と設定温度との差が小さいときは、低い電力レベルでゆっくり運転します。室温が設定温度とほぼ等しくなると、暖房能力を小さくしたり、休止したりして無駄な電力消費を防ぎます。

例)設定温度25℃、電力レベルの設定を「強」にして、室温18℃で運転を開始した場合



※ 実際の運転は設置場所や、お部屋の環境によって上記と異なる場合があります。

便利な機能

チャイルドロック

リモコンのボタンと本体電源ボタンの操作ができなくなります。

リモコンを本体前面に向けて、 と  を同時に3秒間以上押し続ける

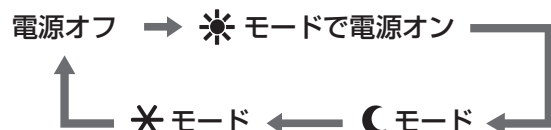
- 本体およびリモコンディスプレイに  が表示されます。
- ロックを解除するには、再度リモコンを本体前面に向けて、 と  を同時に3秒間以上押し続けます。 が消えてボタン操作が可能になります。
- 電源コードの抜き差しや、一時停電すると、本体ロックが解除されます。

本体電源ボタンの使いかた

本機の操作は通常リモコンで行いますが、電池切れなどでリモコンが使えないときは、本体電源ボタンで強制的に電源のオン／オフ（運転開始／停止）と運転モードの切り替えができます。

電源オフのときに本体電源ボタンを押す

- **※** モードで電源がオンになります。
- 本体電源ボタンで電源をオンにした後、約10秒以内に再度本体電源ボタンを押すと、押すたびに以下のように運転モードが切り替わります。



- いずれかの運転モードに切り替えてから本体電源ボタンを押さずに約10秒間待つと、その運転モードが確定します。その状態で再度本体電源ボタンを押すと、電源がオフになります。
- ※ 本体電源ボタンは誤操作を避けるために、簡単に押せないようになっています。押すときは軽く本体を支えて押してください。

お知らせ

本体電源ボタンで運転モードを切り替えると、設定温度と電力レベル設定は以下の内容になります。本体電源ボタンでは設定を変更できません。

運転モード	設定温度	電力レベル設定
※ モード	21℃	強
☾ モード	17℃	強
※ モード	5℃	強

操作音オフ

リモコンの操作時や本体電源ボタンを押したときの音を消すことができます。工場出荷時は音が鳴る状態に設定されています。

リモコンを本体前面に向けて、 と  を同時に3秒間以上押し続ける

- リモコンディスプレイに  が表示されます。このとき本体から音は鳴りません。
- 消音を解除するには、再度リモコンを本体前面に向けて、 と  を同時に3秒間以上押し続けます。本体から「ピピッ」と音が鳴り、 が消えます。

本体表示ランプの明るさ

本体表示ランプの明るさをL1～L3から選んで設定できます。L3にすると最も明るくなります。工場出荷時はL2に設定されています。

リモコンを本体前面に向けて、 を押し、明るさを設定する

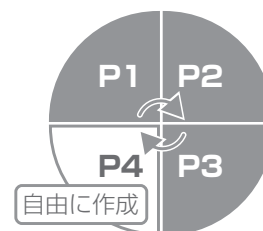
-  を1回押すと、リモコンディスプレイに現在の明るさ「L1」～「L3」が表示されます。同時に本体の表示ランプが現在設定されている明るさで点灯します。約3秒以内に再度  を押すと、押すたびに明るさが切り替わります。リモコンディスプレイに「L1」～「L3」が表示されるのと連動して、本体の表示ランプの明るさが切り替わります。

お知らせ

本体表示ランプは、リモコンの信号を受信した直後や、本体電源ボタンを押した直後に最大の明るさになり、操作をしない状態が数秒続くと、設定した明るさに戻ります。

プログラムモードでもっと便利に

プログラムモードを利用すると、自動で運転モードを切り替えながら暖房できます。本機には、P1～P3のプリセットプログラム（固定パターン）が用意されています。P4を選ぶと、自分の生活に合わせてプログラムを作成できます。

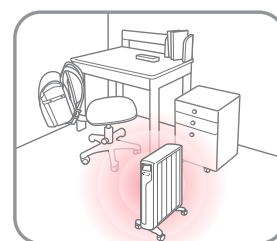


お部屋や生活に合わせてプログラムを選択

■P1：プログラム1

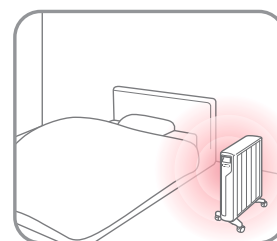
平日は、起床時と夕方帰宅してから就寝まで高めの設定温度（※モード）で運転。それ以外の時間帯は低めの設定温度（●モード）で運転。

土日は、起床から就寝まで高めの設定温度（※モード）で運転。夜間は低めの設定温度（●モード）で運転。



■P2：プログラム2

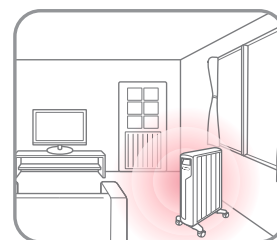
月曜～日曜日まで、起床時と就寝前後の時間帯に高めの設定温度（※モード）で運転。それ以外の時間帯は低めの設定温度（●モード）で運転。



■P3：プログラム3

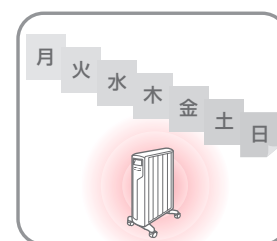
平日は、起床時と夜帰宅してから就寝まで高めの設定温度（※モード）で運転。それ以外の時間帯は低めの設定温度（●モード）で運転。

土日は、起床から就寝まで高めの設定温度（※モード）で運転。夜間は低めの設定温度（●モード）で運転。



■P4：プログラム4

月曜～日曜日まで、自分の生活に合わせてプログラムを作成できます。18ページ「自分のプログラムを作成する」を参照してください。



プログラム	※モードの時間帯※	
	平日(月～金)	土日
P1：プログラム1	5時～8時、16時～23時	7時～23時
P2：プログラム2	5時～8時、22時～24時	
P3：プログラム3	5時～8時、18時～23時	7時～23時
P4：プログラム4	月曜～日曜日のお好みの時間帯に割り当てられます。	

※ P1～P3では、※モード以外の時間帯は●モードで運転します。

※ P1～P3の各固定パターンについては、26ページを参照してください。

プログラムモードの使いかた

プログラムモードに切り替える

プログラムモードに切り替える前に、以下のことを確認してください。

- 曜日と現在時刻を正しく設定していますか？（10ページ）
- 電源が入っていますか？（11ページ）

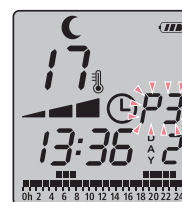
お知らせ

- プログラムモードに切り替えるときやプログラムモード中にリモコン操作をするときは、送信されるデータ量が多いため、リモコンを本体前面に向ける時間をこころもち長めにしてください。一度操作をしたら本体の  が黄色に点滅し、受信音が鳴るまでそのままお待ちください。受信音が鳴れば本体はリモコンの信号を受信しています。
- プログラムモード中は、**ECO** モードと **AUTO** モードは利用できません。



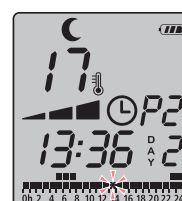
① を押す

- リモコンディスプレイにプログラム表示とタイムバーが表示されます。前回使ったプログラムが点滅します。点滅している間に次の操作に進んでください。



② / を押してプログラム(P1 ~ P4)を選び、約3秒間待つ

- プログラムが点滅から点灯に変わって選択が確定し、プログラムモードに切り替わると、本体の  が点灯します。
- プログラムモード中に ***モード** / **☾モード** の設定温度と電力レベルを変更すると、設定はすべての時間帯のそれぞれの運転モードに適用されます。

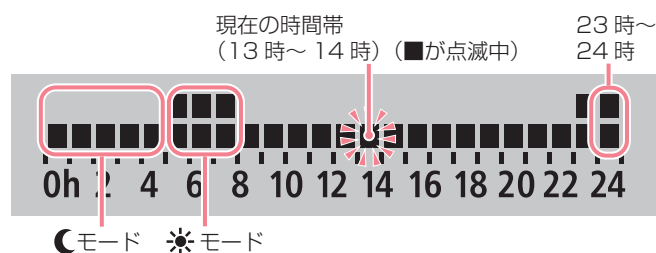


③ プログラムモードを解除するには、 を押す

- リモコンディスプレイからプログラム表示とタイムバーが消え、本体の  が消灯します。

タイムバーの見かた

タイムバーの横軸は、 1つ分が1時間に相当します。 が縦に2つ並んだ時間帯は ***モード**、 が1つのみの時間帯は **☾モード** を表します。また、現在の時間帯は が点滅します。



設定温度と電力レベルの変更について

電力レベル：プログラムモード中も、***モード** / **☾モード** 時は設定変更できます。（ ボタン）

設定温度：プログラムモード中は、現在の運転モード（***モード** / **☾モード** のどちらか）のみ、設定温度を変更できます。（ /  ボタン）

運転中以外のモードの設定温度を変更するときは、プログラムモードを解除してから変更します。

また、プログラムモード中に変更した設定温度はプログラム解除後もそのまま適用されます。

プログラムモード



温度を変更



プログラムモード



変更はプログラムモードに適用される

変更は通常モードに適用される



通常モード

温度を変更



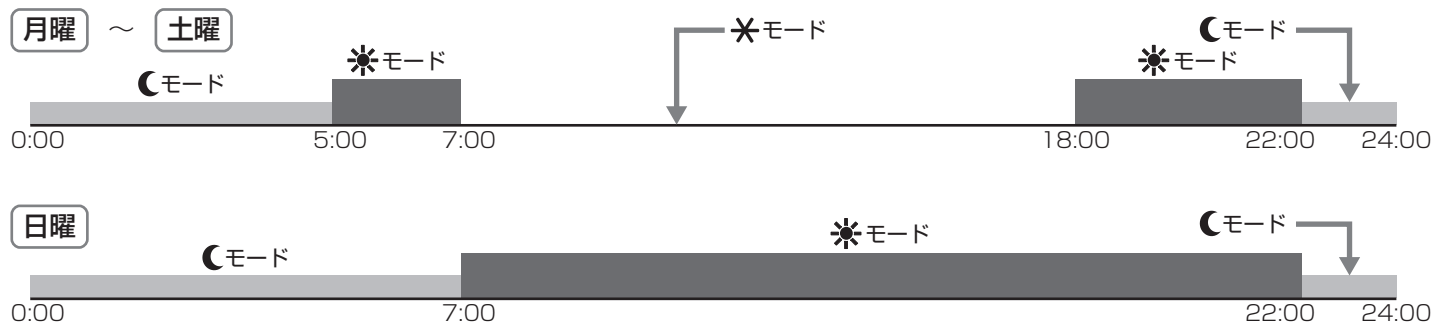
通常モード

プログラムモードの使いかた

自分のプログラムを作成する

P4を選ぶと、※モード・☾モード・☼モードを自由に組み合わせて、曜日ごとに異なるパターンでプログラムを作成できます。

P4(プログラム4)の作成例



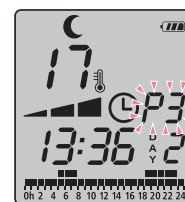
1

作成状態にする



① 時計アイコンを押す

- リモコンディスプレイにプログラム表示とタイムバーが表示されます。前回使ったプログラムが点滅します。点滅している間に次の操作に進んでください。



② + / - を押して「P4」を選び、約3秒間待つ

- 「P4」が点滅から点灯に変わり、本体の 時計アイコン が点灯してP4(プログラム4)の運転が開始します。

お知らせ

工場出荷時のP4(プログラム4)の設定では、月曜～日曜日の全時間帯に※モードが割り当てられています。

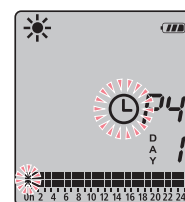
③ リモコンの 時計アイコン が点滅を始めるまで約5秒間、時計アイコン を押し続ける

- DAY 1(月曜)のタイムバーが表示されます。タイムバーの横軸は、■1つ分が1時間に相当します。午前0時～1時の■が点滅して、その時間帯が選択されていることを示します。



お知らせ

前回作成したときに※モードを割り当てた時間帯は、選択状態になっても■の点滅表示はありません。

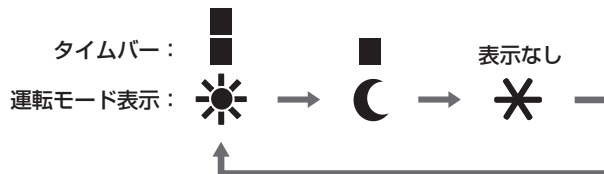


2

作成する

① **MODE** を押して選択中の時間帯の運転モードを選ぶ

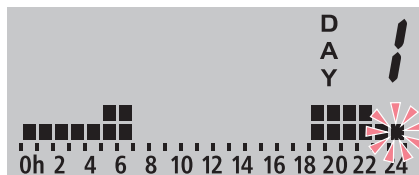
- 押すたびに **＊** モード・**☾** モード・**☀** モードが以下のように切り替わります。



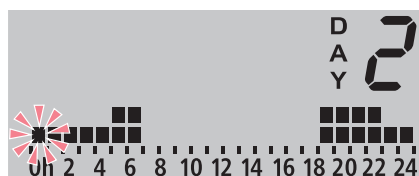
午前0時～1時に **☾** モードを割り当てる場合

② **+** を押して次の時間帯へ進み、**MODE** を押して運転モードを選ぶ

- この操作を繰り返して、各曜日のすべての時間帯に運転モードを割り当てます。
- **-** を押すと前の時間帯に戻ります。
- 各曜日の23時～24時を選択中に **+** を押すと、次の曜日のタイムバーに移行します。次の曜日のタイムバーは、前の曜日のタイムバーをコピーしたものとします。



DAY 1 (月曜)の23時～24時を選択



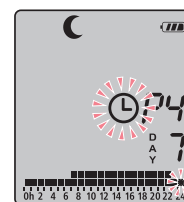
DAY 2 (火曜)にタイムバーがコピーされる

③ DAY 7 (日曜)の23時～24時を選択中に **+** を押す

- P4 (プログラム4)の作成が完了し、P4 (プログラム4)の運転が開始します。

お知らせ

P4 (プログラム4)の作成途中(手順②の①～②)で **①** または **②** を押して作成を終了することもできます。また、ボタン操作しない状態が約2分間続くと作成は終了します。その時点までのタイムバーの設定内容が記憶されます。



お知らせ

＊ モードのときは  の表示がないので、タイムバーの  の点滅によって現在の時間帯を示すことはできません。現在の時間帯が **＊** モードであることは、リモコンディスプレイの **＊** と時刻表示で確認できます。

使いかたのヒント

マルチダイナミックヒーターをさらに上手に使うためのヒントを説明します。

運転モードについて

※❄️の各運転モードは右上の表のような関係になります。
❄️モードと❄️モードは室温がそれぞれ設定された温度に、
❄️モードは5℃より下がらないように自動で最適運転を行います。
❄️モードの設定温度は❄️モードと同じかそれより低い温度に設定します。❄️モードを通常モードとして使用し、暖房を少し弱めたいときに❄️モードへ切り替え、寒くなったら❄️モードに戻す、といった使いかたができます。
なお、❄️モードの設定温度を❄️モードより低い温度に設定すると、❄️モードの設定温度はそれに合わせて自動的に下がります(右下の表)。

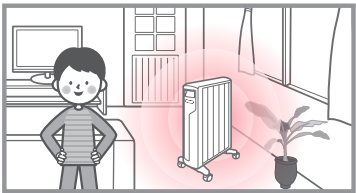
	設定可能温度	温度範囲
❄️モード	10～28℃	
❄️モード	8～25℃※	
❄️モード	5℃固定	
設定温度		5℃ 10℃ 15℃ 20℃ 25℃ 30℃

※❄️モードの上限は❄️モードの設定値に連動

❄️モード	リモコンで20℃に設定変更		28℃
❄️モード	本機が自動的に❄️モードを20℃に変更		25℃
設定温度	5℃ 10℃ 15℃ 20℃ 25℃ 30℃		

❄️モードの設定温度が自動的に変更される例

❄️モードは寒さの厳しいヨーロッパで、屋内の観葉植物を凍らせないために使われることが多い運転モードです。ご使用環境によっては、❄️モード時に運転電力モニターが点灯することはまれですが、室温が5℃より下がらないよう少ない消費電力量で連続運転しています。厳冬時などに普段いないお部屋で運転させておくことで、お部屋へ移動した際の急激な温度変化を避けるような使いかたもできます。



❄️モードは少ない消費電力量で室温を5℃に保ちます

プログラムモードについて

本機のプログラムモードは一般的なタイマーと異なり、24時間の常時運転を行う欧州製品ならではの特徴的なしくみになっています。
ここでは、プログラムモードを有効に使うためのヒントを説明します。

例：P1（プログラム1）の運転モードパターン

曜日 (DAY n)	表示	0h		2		4		6		8		10		12		14		16		18		20		22	(24)
	時間 範囲	0時 ~1時	1時 ~2時	2時 ~3時	3時 ~4時	4時 ~5時	5時 ~6時	6時 ~7時	7時 ~8時	8時 ~9時	9時 ~10時	10時 ~11時	11時 ~12時	12時 ~13時	13時 ~14時	14時 ~15時	15時 ~16時	16時 ~17時	17時 ~18時	18時 ~19時	19時 ~20時	20時 ~21時	21時 ~22時	22時 ~23時	23時 ~24時
月曜日 (DAY1)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
火曜日 (DAY2)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
水曜日 (DAY3)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
木曜日 (DAY4)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
金曜日 (DAY5)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
土曜日 (DAY6)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾
日曜日 (DAY7)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☾

もう少し詳しく見るために、月曜日を例にとります。

P1（プログラム1）の月曜日は深夜0時から5時まで**●**モードで自動運転し、朝5時から8時までは**★**モードで運転します。その後、夕方16時（午後4時）までは**●**モードで運転してから、16時から**★**モード、深夜23時（午後11時）に**●**モードに戻ります。

設定温度を一定（ここでは**★**モード24℃、**●**モード12℃）で運転し続けたとき、本機は下の表のような設定温度で自動運転します。

曜日 (DAY n)	表示	0h		2		4		6		8		10		12		14		16		18		20		22	(24)
	時間 範囲	0時 ~1時	1時 ~2時	2時 ~3時	3時 ~4時	4時 ~5時	5時 ~6時	6時 ~7時	7時 ~8時	8時 ~9時	9時 ~10時	10時 ~11時	11時 ~12時	12時 ~13時	13時 ~14時	14時 ~15時	15時 ~16時	16時 ~17時	17時 ~18時	18時 ~19時	19時 ~20時	20時 ~21時	21時 ~22時	22時 ~23時	23時 ~24時
月曜日 (DAY1)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	✱	✱	✱	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	☾	✱	✱	✱	✱	✱	✱	✱	☾
		12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	24℃	24℃	24℃	12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	24℃	24℃	24℃	24℃	24℃	24℃	24℃	12℃

本機のAuto Adaptive Technology（AAT）により上記設定のままだと、消費電力量を抑えながら効率の良い暖房が得られます。

次に応用編として、ご出勤が遅めになった日を説明します。

普段より遅く11時に出勤されるときの、プログラムは設定どおり8時に**●**モードへ切り替わり、設定温度は12℃になります。このとき、運転モードを切り替えなくてもリモコンの**+**で**★**モードと同じ設定温度の24℃まで上げることができます。ご出勤時間の11時にリモコンの**-**でいつもの設定温度に戻しておけば、ご不在中の消費電力量を抑えられます。

曜日 (DAY n)	表示	0h		2		4		6		8		10		12
	時間 範囲	0時 ~1時	1時 ~2時	2時 ~3時	3時 ~4時	4時 ~5時	5時 ~6時	6時 ~7時	7時 ~8時	8時 ~9時	9時 ~10時	10時 ~11時	11時 ~12時	12時 ~13時
月曜日 (DAY1)	表示	■	■	■	■	■	■ ■	■ ■	■ ■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	✱	✱	✱	☾	☾	☾	☾	☾
		12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	24℃	24℃	24℃	20℃	20℃	20℃	12℃	12℃

↑

リモコンで上げる

↓

リモコンで下げる

外気温の変化で設定温度を変えたいときは、次のような使いかたができます。

比較的暖かな朝には**★**モードをいつもより低めの温度に設定しても快適です。また、朝が暖かでも、夜には冷え込むような天気予報の場合、ご出勤前に**★**モードの設定温度を戻しておけば、ご帰宅のときにはいつもどおりの暖かさです。

曜日 (DAY n)	表示	0h		2		4		6		8		10		12
	時間 範囲	0時 ~1時	1時 ~2時	2時 ~3時	3時 ~4時	4時 ~5時	5時 ~6時	6時 ~7時	7時 ~8時	8時 ~9時	9時 ~10時	10時 ~11時	11時 ~12時	12時 ~13時
月曜日 (DAY1)	表示	■	■	■	■	■	■ ■	■ ■	■ ■	■	■	■	■	■
	運転モード	☾	☾	☾	☾	☾	☼	☼	☼	☾	☾	☾	☾	☾
		12℃	12℃	12℃	12℃	12℃	18℃	18℃	24℃	12℃	12℃	12℃	12℃	12℃

↓

リモコンで下げる

↑

リモコンで上げる

P4（プログラム4）は1週間の生活スタイルに合わせて、運転モードを1時間ごとに設定することができます。

P4では**★**モードと**●**モードに加え、**☆**モードが利用できますので、さらに自由な設定が可能です（設定方法は18ページを参照）。

★モードは設定温度が5℃固定なので、例えば外気温が上がる日中には大きな電力消費を伴う運転はほとんど行われません（厳冬期を除く）。そのため、P1～P3にはない**★**モードを使って、最小限の消費電力量で連続運転させることができます。

曜日 (DAY n)	表示	0h		2		4		6		8		10		12		14		16
	時間 範囲	0時 ~1時	1時 ~2時	2時 ~3時	3時 ~4時	4時 ~5時	5時 ~6時	6時 ~7時	7時 ~8時	8時 ~9時	9時 ~10時	10時 ~11時	11時 ~12時	12時 ~13時	13時 ~14時	14時 ~15時	15時 ~16時	16時 ~17時
月曜日 (DAY1)	表示	■				■	■	■	■	■							■	■
	運転モード	☾	✳	✳	✳	☾	✳	✳	✳	☾	✳	✳	✳	✳	✳	✳	☾	✳
		12℃	5℃	5℃	5℃	12℃	24℃	24℃	24℃	12℃	5℃	5℃	5℃	5℃	5℃	5℃	12℃	24℃

←————→

運転時間最小

←————→

ほとんど待機状態

←————→

プログラムモードをより上手にご利用のうえ、効率の良い快適な暖房をお楽しみください。

故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（27ページ）までお問い合わせください。

	症状	確認すること
暖房運転	リモコンの電源ボタンを押しても電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ 電源プラグ(刃)をコンセントに根元までしっかりと差し込んでください。ガタツキのあるコンセントは使用しないでください。(4ページ) ● 電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動していませんか？ 輸送／保管時の環境により復帰型温度過昇防止装置が作動することがあります。(5ページ) 使用中に作動した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、当社テクニカルセンターにご連絡ください。(27ページ) ● チャイルドロックが設定されていませんか？ チャイルドロックを解除してください。(15ページ) ● リモコンを本体前面に向けて操作していますか？ リモコンの信号送信部を本体前面に向けて操作してください。(11ページ)
	本体の運転電力モニター（電力レベル表示左側の細い棒）が点灯しない	● 設定温度が低すぎませんか？ 設定温度を上げてください。(11、13ページ) ● ＊モードになっていませんか？ ＊モードのときは、室温が5℃を下回らないと運転を開始しないので、運転電力モニターも点灯しない時間が長くなります。AUTOモード、＊モードまたは●モードに切り替えてください。(11、12ページ)
	室内がなかなか暖かにならない	● ドア(出入り口)付近に設置していませんか？ ドア(出入り口)から離れた場所に設置してください。(7ページ) ● ホットカーペットや床暖房の上に設置していませんか？ ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。(6ページ) ● 電力レベルを「弱」に設定していませんか？ 室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、「弱」では暖まりにくい場合があります。電力レベルを強めに設定してください。(13ページ) ● ご使用の環境に対して、設定温度が低すぎませんか？ 室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、設定温度を上げてください。(11、13ページ) ●モードを使用している場合は、AUTOモードまたは＊モードに切り替えてください。(11、12ページ) ● ＊モードになっていませんか？ ＊モードのときは、室温が5℃を下回らないと運転を開始しないので、運転電力モニターも点灯しない時間が長くなります。AUTOモード、＊モードまたは●モードに切り替えてください。(11、12ページ)
電源プラグ	電源プラグ・コードが異常に熱くなる	● 電源プラグ・コードは正しく接続されていますか？ 「電源プラグ・コード、コンセントの安全チェックシート」(4ページ)に従って、電源プラグ・コード、および壁のコンセントを点検してください。

症状	確認すること
リモコンで操作できない	● リモコンを本体前面に向けて操作していますか？ リモコンの信号送信部を本体前面に向けて操作してください。(11 ページ) ● チャイルドロックが設定されていませんか？ チャイルドロックを解除してください。(15 ページ) ● リモコンの電池が消耗( が点滅) していませんか？ 新しい電池と交換してください。(10 ページ)
 を押しても AUTO モードにならない	● ECO モードまたはプログラムモードになっていませんか？ ECO モード／プログラムモードを解除してください。(13、17 ページ)
 を押しても運転モードが切り替わらない	● AUTO モード、ECO モード、またはプログラムモードになっていませんか？ AUTO モード／ECO モード／プログラムモードを解除してください。(11、13、17 ページ)
 を押しても ECO モードにならない	● AUTO モード、* モード、またはプログラムモードになっていませんか？ AUTO モード、* モード、またはプログラムモードを解除してください。(11、12、17 ページ)
電力レベルの切り替えができない	● AUTO モードまたは * モードになっていませんか？ AUTO モード／* モードを解除してください。(11、12 ページ)
設定温度が5℃のまま変更できない	● * モードになっていませんか？ * モードを解除してください。(12 ページ)
☾ モードの設定温度が最大25℃まで上がらない	● * モードの設定温度が25℃未満に設定されていませんか？ * モードの設定温度を25℃以上に設定してください。(13 ページ)
☾ モードの設定温度が自動的に下がる	● * モードの設定温度を ☾ モードより低い温度に変更しましたか？ * モードの設定温度は ☾ モードより高く設定してください。(13 ページ)
違う動作をする／動作しない	● 本機に付属のリモコンを使用していますか？ 本機専用のリモコンを使用してください。
リモコンのディスプレイが消えている	● リモコンの電池が消耗していませんか？ 新しい電池と交換してください。(10 ページ)
本体とリモコンの運転モードがずれている	● リモコン操作後、受信音は鳴りましたか？／本体電源ボタンを使用していますか？ 再度リモコンの信号送信部を本体前面に向けて操作してください。受信音(ピッピッ)が鳴って、本体の表示がリモコンと一致します。(11 ページ)

故障かな？

	症状	確認すること
プログラムモード	プログラムどおりの動作をしない	● リモコンの曜日と現在時刻は合っていますか？ 曜日や現在時刻がずれていると、運転モードがプログラムどおりに切り替わりません。曜日と現在時刻を正しく合わせてください。(10ページ)
	本体の運転電力モニター(電力レベル表示左側の細い棒)が点灯しない	● ご使用の環境に対して、設定温度が低すぎませんか？ 室外の気温が非常に低いなど部屋の環境によっては、設定温度を上げてください。(11、13ページ) ● ＊モードになっていませんか？(P4(プログラム4)運転時) ＊モードのときは、室温が5℃を下回らないと運転を開始しないので、運転電力モニターも点灯しない時間が長くなります。＊モードまたは●モードに切り替えてください。(19ページ)
	電源オフの設定ができない	● 電源オフの設定はできません。 P4(プログラム4)作成時、運転休止にしたい時間帯には＊モードを割り当ててください。(19、21ページ)
故障ではありません	使いはじめのにおい	使いはじめは新製品特有のにおいを感じる場合があります。しばらくお使いいただくとにおいはおさまります。
	まれに金属音がする	本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。
	運転中かすかに音がする	まれに電子回路から動作音が聞こえる場合があります。異常ではありません。
	本体電源ボタンが押せない	通常はリモコンを使用してください。本体電源ボタンを押すときは本体を軽く支えて押してください。(15ページ)
	電池交換後もディスプレイの  が点滅する	新しい電池に交換した後も数分間点滅していることがあります。異常ではありません。

通電ランプのエラー表示

通電ランプの状態	原因・対処のしかた
 緑で点滅	本体が傾いています。 本体を平らで安定した場所に設置してから、電源を入れ直してください。
 赤と緑の交互点滅	本体の通気口がふさがれていたり、本体が覆われたりしているなどの理由で、異常発熱保護装置が作動しました。 電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えるまでお待ちください。電源を入れ直しても正常に動作しない場合は、当社テクニカルセンター(27ページ)にご相談ください。
 赤で点滅	温度センサーの故障です。 ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社テクニカルセンター(27ページ)にご相談ください。
 黄(赤と緑)で点滅	リモコンから信号を受信しています。エラーではありません。

お手入れ／保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

お手入れ

定期的なお手入れ

- 本体および床や壁とのすき間にたまっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- 壁のコンセント（刃受け）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやホコリは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。（5ページ）

本体が汚れたら

- 乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってからふいてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

1 保管前のお手入れ

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったホコリを取り除いてください。

2 プラグの収納

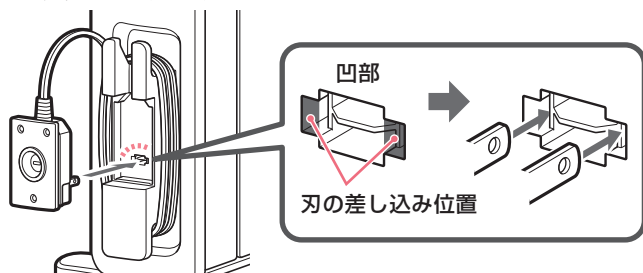
保管する前に、次の手順で電源プラグを収納します。

1 電源コードをコードホルダーに軽く巻く

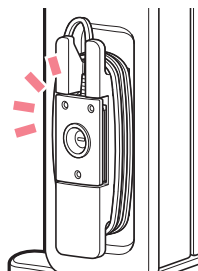


電源コードをコードホルダーに強く巻かない（火災の原因）

2 電源プラグの刃を凹部の両端に平行に合わせ、真っすぐ差し込む



3 電源プラグを凹部の奥までしっかりと差し込む



電源プラグは収納部に正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障する恐れがあります。

3 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを開いた状態で保管してください。



保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

仕 様

型式番号	MDH15-BK	
定 格	電圧／周波数	交流 100V ／ 50/60Hz
	消費電力	1500 W
外形寸法(約)	長さ 49.5 cm × 幅 27.5 cm × 高さ 66.5 cm	
質量(約)	12.5 kg	
適用畳数	～ 10 畳まで	
プログラムモード	4パターン(固定3パターン※、可変1パターン)	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置(本体内)、 復帰型温度過昇防止装置(本体内部、電源プラグ内)	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池(単4形×2本)	
原産国	中国	

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。

この製品は、鉛およびその化合物、水銀およびその化合物、六価クロム化合物、カドミウムおよびその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



※以下は、本機に用意されている3つのプリセットプログラム(固定パターン)の内容です。

P1：プログラム1

曜日 (DAY n)	表示	0h	1時 ～2時	2時 ～3時	3時 ～4時	4時 ～5時	5時 ～6時	6時 ～7時	7時 ～8時	8時 ～9時	9時 ～10時	10時 ～11時	11時 ～12時	12時 ～13時	13時 ～14時	14時 ～15時	15時 ～16時	16時 ～17時	17時 ～18時	18時 ～19時	19時 ～20時	20時 ～21時	21時 ～22時	22時 ～23時	23時 ～24時
月～金 (DAY 1～5)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	※	※	※	●	●	●	●	●	●	●	●	※	※	※	※	※	※	※	●
土日 (DAY 6, 7)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	●	●	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	●

P2：プログラム2

曜日 (DAY n)	表示	0h	1時 ～2時	2時 ～3時	3時 ～4時	4時 ～5時	5時 ～6時	6時 ～7時	7時 ～8時	8時 ～9時	9時 ～10時	10時 ～11時	11時 ～12時	12時 ～13時	13時 ～14時	14時 ～15時	15時 ～16時	16時 ～17時	17時 ～18時	18時 ～19時	19時 ～20時	20時 ～21時	21時 ～22時	22時 ～23時	23時 ～24時
月～金 (DAY 1～5)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	※	※	※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※	※
土日 (DAY 6, 7)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	※	※	※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※	※

P3：プログラム3

曜日 (DAY n)	表示	0h	1時 ～2時	2時 ～3時	3時 ～4時	4時 ～5時	5時 ～6時	6時 ～7時	7時 ～8時	8時 ～9時	9時 ～10時	10時 ～11時	11時 ～12時	12時 ～13時	13時 ～14時	14時 ～15時	15時 ～16時	16時 ～17時	17時 ～18時	18時 ～19時	19時 ～20時	20時 ～21時	21時 ～22時	22時 ～23時	23時 ～24時
月～金 (DAY 1～5)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	※	※	※	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	※	※	※	※	※	●
土日 (DAY 6, 7)	表示	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運転モード	●	●	●	●	●	●	●	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	●

アフターサービス

お客様情報登録のお願い：

本製品の保証は当社にお客様登録をいただき、当社からお客様登録番号が発行されることで有効となります。
お手数ですがお買い上げ後1ヶ月以内に、別紙『お客様登録ガイド』に従って、登録を完了してください。

使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」(22ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源コード、電源プラグが変形／破損している
- 本体前面パネルや放熱部に、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

修理をご依頼される前に、「①製品名称と型式番号」、「②故障の状況」、「③当社から発行したお客様登録番号・ご登録いただいたご氏名・お電話番号」、「④お買い上げ時のレシート(領収書、配送伝票など)」をご用意ください。

- 上記①～④をお求めの販売店にご提示になり、修理をご依頼ください。
- お求めの販売店にご依頼できない場合は、上記①～④をお手元にご用意の上、当社テクニカルセンター(下記)へご相談ください。

※保証規定については、28ページをご覧ください。

補修性能部品の保有期間について：

当社では、このヒーターの補修性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。



保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、当社テクニカルセンター(下記)までご連絡ください。



- **送料について：**送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。
 - **梱包について：**製品の入っていた箱(元箱)に入れてください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
- ※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
※事前に当社ホームページ(下記)等で送付先をご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または当社テクニカルセンター(下記)にお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター(受付時間：土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00)

コールセンター

Tel. 0120-804-280

Fax. 0120-956-020

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp/support>

お買い上げレシート貼り付け欄	販売店	※店名・住所・TEL：
		※お買い上げ日： 年 月 日

保証規定

■保証規定の適用

本保証規定は別紙に従って、当社へお客様登録をいただき、当社からお客様登録番号が発行されることで有効となります。

■保証の範囲

製品名:デロンギ マルチダイナミックヒーター

型式番号:MDH15-BK

保証期間:お買い上げ日より3年間 保証対象:本体

■レシートの保管

保証を受ける時に必要となりますので、お買い上げ時に販売店から発行されたレシート(領収書や配送伝票でも可)を、なくさないよう保管してください。

本保証は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、上記保証の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から上記保証期間内に故障が発生した場合は、商品とお買い上げ時のレシート、当社から発行したお客様登録番号とご登録されたご氏名・お電話番号をメモにてご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前に下記のデロンギ・ジャパン テクニカルセンターにご相談ください。
3. ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社テクニカルセンターに直接ご相談ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 事前にお客様登録がない場合、または、お買い上げ時のレシートが提示いただけない場合
 - ロ. 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷

ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障および損傷

ニ. 火災・公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)・異常電圧・定格外の使用電源(電圧、周波数)および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷

ホ. 一般家庭用以外(例えば業務用、車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷

ヘ. お客様登録の際に、意図的な虚偽事項のご登録をされた場合

ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

(The warranty is valid only in Japan.)

6. お客様登録時に発行するお客様登録番号は再発行いたしませんので、お買い上げ時のレシートとともに、大切に保管してください。

● 本保証規定は記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証規定によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパン テクニカルセンターにお問い合わせください。

● 補修用性能部品の保有期間につきましては「アフターサービス」(27ページ)をご覧ください。

お客様登録番号

お客様登録時に当社より発行したお客様登録番号を下に記録してください。

W1406K

デロンギ・ジャパン株式会社 テクニカルセンター

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

コールセンター

Tel. 0120-804-280

ホームページ

<http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

個人情報の利用目的について

当社「個人情報保護に対する基本方針」に則り、ご登録いただいたお客様の個人情報を、下記目的の範囲内で利用いたしますのでご了承ください。

- お買い上げ製品のアフターサービス・安全点検に関わる情報提供
- 当社製品のカスタマーサポートに関わる情報提供(各種お問い合わせへの対応など)
- 当社新製品に関わる情報提供

「個人情報保護に対する基本方針」については、当社ホームページ(<http://www.delonghi.co.jp/policy/privacy-policy>) をご参照ください。

ご登録いただいた個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ窓口

デロンギ・ジャパン株式会社 テクニカルセンター

電話番号：0120-804-280

受付時間：9:30 ～ 17:00(土、日、祝日を除く)



DHI-140396
5725310001/06.14